

東京都立小石川中等教育学校

【現代文B】

年間授業計画

教科:(国語)科目:(現代文B) 対象:(第 5学年 A組~ D組)

使用教科書:精選現代文B(筑摩書房)

使用教材:ちくま評論選(筑摩書房)・現代文キーワード読解(Z会)・漢字と語彙2400(旺文社)・入試準備問題演習現代文評論(learn-s)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	<p>■評論の読解</p> <p>①「断片化と全体」 港千尋</p> <p>②「ラップトップ抱えた 石器人」 長谷川真理子</p> <p>③「思考バイアス」 池内了</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>①・対比的なものの方見方に親しむ。 ・情報化に由来する現代のあり方について考える。</p> <p>②・比喩的な表現の効果や表現内容を理解する。 ・科学技術の発達と人間のあり方について考える。</p> <p>③・具体例とそこから導かれる論の展開の仕方を理解する。 ・科学的な思考のあり方について考える。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>① 3</p> <p>② 2</p> <p>③ 1</p>
5月	<p>■評論の読解</p> <p>④「アイオワの玉葱」 長田弘</p> <p>(○中間考査)</p> <p>■小説の鑑賞</p> <p>⑤「山月記」 中島敦</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の展開や構造をつかませる。</p> <p>④・具体例とそこから導かれる筆者の論の展開を読み取る。 ・相対的なものとして立ち現れてくる、言語の本質について考える。</p> <p>■優れた描写によって描かれた、作品の世界を味わい、登場人物の心情をとらえることで、ものの見方・感じ方を広げさせる。</p> <p>⑤・表現に即して、虎になった李徴の心情の変化を読み取る。 ・李徴の生き方について考えを深める。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>④ 2</p> <p>○ 1</p> <p>⑤ 3</p>
6月	<p>■小説の読解・鑑賞</p> <p>⑤「山月記」(承前)</p> <p>■評論の読解</p> <p>⑥「動物化するポストモダン」 東浩紀</p> <p>⑦「物語という欲望」 内田樹</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■(同前)</p> <p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>⑥・接続表現に注意して論の展開をとらえる。 ・「モダン」「ポストモダン」の考え方の概要を理解する。</p> <p>⑦・具体例とそこから導かれる筆者の論の展開を読み取る。 ・「物語」を「読む」という行為について考える。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>⑤ 4</p> <p>⑥ 3</p> <p>⑦ 3</p>
7月	<p>(○期末考査)</p> <p>■評論の読解</p> <p>⑧「ディズニーランド」 吉見俊哉</p> <p>■詩歌の鑑賞</p> <p>⑨短歌</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>⑧・指示表現に着目して、筆者独自の視点からの論の展開を読み取る。 ・抽象という営みをもつ、認識装置としての力について考える。</p> <p>■近代以降の短歌にふれ、個々の作品の情景を読み取ることを通じて語彙を豊かにし、語感を鋭敏なものに高める。</p> <p>⑨・それぞれの短歌の描く情景や心情を適切に読み取る。 ・近代短歌の歴史について概要を理解する。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>○ 1</p> <p>⑧ 3</p> <p>⑨ 2</p>

教科:(国語)科目:(現代文B) 対象:(第5学年A組~D組)

使用教科書:精選現代文B(筑摩書房)

使用教材:ちくま評論選(筑摩書房)・現代文キーワード読解(Z会)・漢字と語彙2400(旺文社)・入試準備問題演習現代文評論(Learn's)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8・9月	<p>■随想の鑑賞 ⑩「路地の奥の家」 リービ英雄</p> <p>■小説の鑑賞 ⑪「ころ」 夏目漱石</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■筆者の柔軟な思考や文章表現を味わうとともに、筆者の取り上げる話題を通してその思いを受容し、自らの思いを広げさせる。</p> <p>⑩・「異文化」のなかに身を置いた具体的な事例を通じて筆者の思いを読み取る。</p> <p>■本格的な小説作品を多角的に読むことを学ぶとともに生活のなかに位置づけることで、読書に親しみ、生涯にわたって考えを深め人生を豊かにする態度を養う。</p> <p>⑪・四月から継続的に読みを進めることで、小説の読みに親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多層的に構成された小説世界を把握し、描写にもとづいて登場人物の心情を適切に読み取る。 ・近代人の「ころ」について考える。 <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>⑩ 2</p> <p>⑪ 4</p>
10月	<p>■小説の鑑賞 ⑪「ころ」(承前)</p> <p>■評論の読解 ⑫「畏怖する人間」 柄谷行人</p> <p>(○中間考査)</p> <p>⑬「ふわふわ」 鷲田清一</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■(同前)</p> <p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>⑫・具体例(引用)とそれに基づく筆者の論の展開を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漱石が見てしまったという「現実」について考える。 <p>⑬・一つのオノマトペから、抽象的な思考へと進む筆者の論の展開の巧みさを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市生活における身体のある方について考える。 <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>⑪ 4</p> <p>⑫ 2</p> <p>⑬ 1</p> <p>○ 1</p>
11月	<p>■評論の読解 ⑭「ファンタジー・ワールドの誕生」 今福龍太</p> <p>⑮「科学・技術と生活空間」 村上陽一郎</p> <p>⑯「言語が見せる世界」 野矢茂樹</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>⑭・具体的な事例とそれを異化する筆者の解釈(論)を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常を異化する視点を獲得するための概念装置としての現代用語(ターム)を知る。 <p>⑮・社会のありようが段階的に展開していくさまを表現に即して理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文明のイデオロギー」について考える。 <p>⑯・視覚から言語へと進められる筆者の論の展開に即して内容を適切に読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言語論的転回」の世界観について考える。 <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>⑭ 4</p> <p>⑮ 3</p> <p>⑯ 3</p>
12月	<p>(○期末考査)</p> <p>■評論の読解 ⑰「言語の経験」 熊野純彦</p> <p>■実用の文章に親しむ ⑱手紙・報告</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■接続の表現・指示の表現などに注目しながら表現に即して文脈を追い、対比・換言・具体および抽象・比喩などの関係をとらえることを軸として各段落の要旨を理解させ、それらを積み重ねることで論の展開や構造をつかませる。</p> <p>⑰・直前の(⑯「言語が見せる世界」)での読解を前提に、「ことばが先にある」という考え方に親しむ。</p> <p>■目的に応じた文章の違いについて具体的な例をもとにして理解し、実作に及ぶ。</p> <p>⑱・相手や目的の違いが、どのような表現の違いに繋がるか理解する。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度</p> <p>・学習活動における発言内容や態度</p> <p>・ノート類への記述の確認</p> <p>・定期考査</p> <p>・小テスト</p>	<p>○ 1</p> <p>⑰ 3</p> <p>⑱ 2</p>

東京都立小石川中等教育学校

【現代文B】

年間授業計画

教科:(国語)科目:(現代文B) 対象:(第 5学年 A組～ D組)

使用教科書:精選現代文B(筑摩書房)

使用教材:ちくま評論選(筑摩書房)・現代文キーワード読解(Z会)・漢字と語彙2400(旺文社)・入試準備問題演習現代文評論(learn-s)

	指導内容 【年間授業計画】	科目の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1月	<p>■小説 ⑱「舞姫」 森鴎外</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■文語文で記された小説作品を、登場人物の心情を叙述に即して読むことで、近代社会黎明期という時代状況のなかで翻弄される自我意識の萌芽と混乱について考え、人間・社会に対するものの見方・感じ方を広げさせる。</p> <p>⑱・文語文に親しみ、格調高い表現を味わう。 ・時代背景をふまえ、登場人物の言動・心理を読み取り、人間の生き方について考えを深める。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容や態度 ・ノート類への記述の確認 ・定期考査 ・小テスト</p>	⑱ 6
2月	<p>■小説の鑑賞 ⑲「舞姫」(承前)</p> <p>■講演記録の読解 ⑳「現代日本の開化」 (漱石)</p> <p>■評論の読解 ㉑「ノスタルジアと『かわいい』」 四方田大彦</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■(同前)</p> <p>■明治末期になされた講演の記録を読み、「近代」という時代の流れに当時の知識人がどのような意識をもっていたかを理解する。</p> <p>⑳・漱石の述べる「近代」について、「こころ」や「舞姫」の時代背景として位置づけることで、作品世界の理解をいっそう深めるとともに、「近代」批判の源流としての論調を理解し、評論文の理解にもつなげる。</p> <p>■ ㉑・多用される評論用語を手掛かりにして、筆者の論の展開を理解する。 ・日本文化のキーワードでもある「かわいい」という語の実体について考える。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容や態度 ・ノート類への記述の確認 ・定期考査 ・小テスト</p>	⑲ 2 ⑳ 3 ㉑ 3
3月	<p>(○学年末考査)</p> <p>■評論の読解 ㉒「BERLIN1888」 前田愛</p> <p>■詩歌の鑑賞 ㉓「I was born」 吉野弘 ㉔「永訣の朝」 宮澤賢治 ㉕「死にたまふ母」 齋藤茂吉</p> <p>□評論・文芸・一般語彙</p>	<p>■ ㉒・街区という実体を隠喩的に読み解いていく記号的な論の進め方に即して、筆者の主張を読み取る。 ・都市論のものの見方について考える。</p> <p>■誕生と死を素材とした韻文を読むことで、その表現上の特徴に注意をはらいながら、情景や心情などをとらえることを学び、韻文を通して自然に親しむ態度や、人生について深く考える態度を養う。</p> <p>□一般的な知的生活に必要な語彙を理解・運用可能なかたちで定着させる。</p>	<p>・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容や態度 ・ノート類への記述の確認 ・定期考査 ・小テスト</p>	○ 1 ㉒ 2 ㉓ 1 ㉔ 1 ㉕ 1